

領内に「漆100万本」の植樹を計画した上杉鷹山以来
山形は「漆の国」と言えましょう。

本展は近代山形の漆芸の精華とも言うべき4人の作家の
作品が一堂に会する初の展覧会です。

4人展

山形県「漆芸の精華」

本間 薺華

〈柿文盆〉



中川 哲哉

〈乾漆水指〉

結城 哲雄

〈香合加ぶと虫〉



佐藤 正巳

〈乾漆へん壺〉



関連イベント1

三田村有純の
ギャラリートーク
11.19 [日] 14:00~

[講師] 三田村有純氏

(東京藝術大学名誉教授、江戸蒔絵赤塚派10代)

[お申込] 不要。※当日の観覧券が必要です

[テーマ] 4人の作家に見る技法と感性表現について

関連イベント2 ワークショップ

漆のカップに蒔絵体験
11.26 [日] 13:30~16:00

[講師] 松本由衣氏

(東北芸術工科大学 工芸デザイン学科 講師)

[対象] 高校生以上

[お申込] 必要。あゆ一むまでお申込ください。

(※切 11月24日)

[参加料] 4,500円

※詳しくは裏面をご覧ください

2023年

11月4日(土)~12月3日(日) 9時~19時

「会場」白鷹町文化交流センターあゆ一む

「観覧料」一般個人500円/大学生・高校生200円/中学生以下無料

月曜休館

主催・問合せ・蒔絵体験申込み

白鷹町文化交流センター

☎0238-85-9071

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町鮎貝 7331

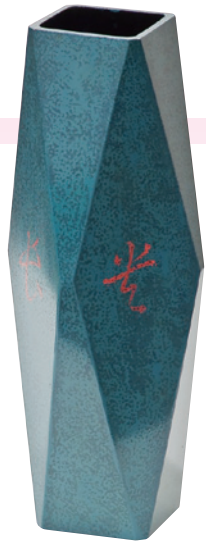
本間 薺華

しゅん か

明治27年(1894)酒田市生まれ。東京に出て辻村松華に師事。パリ万博で銀賞、帝展、文展などで活躍。昭和29年(1954)の日本伝統工芸展第1回から出品を続け審査員も務めた。日展会員で漆工芸界の長老。平成31年(1991)97歳で没。



〈蓬萊山(額)〉



〈乾漆花入富光長春〉

結城 哲雄

明治33年(1900)飽海郡松山町生まれ。18歳で上京し、蒔絵、日本画を学び、大正10年(1921)からは植松包美に師事し描金法を修める。26歳で独立してから50年の歳月を漆芸作家一筋に歩み、帝展審査員、日展会員となった。昭和20年(1945)郷里山形に帰り、山形県総合工芸協会を設立し、県工芸会の指導にあたり、多くの工芸家を育てた。昭和45年(1970)70歳で没。



〈香合毘里〉外側



内側

中川 哲哉

てっ さい

明治30年(1897)天童市生まれ。京都の中村宗哲に学んだあと植松包美、六角紫水に学び、「乾漆」技法を研究し独自の技法を極める。日展、伝統工芸展、パリ万博などで活躍。国内外で高い評価を得る。昭和51年(1976)79歳で没。

佐藤 正巳

大正9年(1920)天童市生まれ。東京美術学校に学ぶ。昭和32年(1957)から連続28年間日展に入選、日展特選、北斗賞を受賞。昭和48年(1973)東北現代工芸美術家協会の発足に尽力、初代会長に就任。山形大学教授としても後進の指導に努める。昭和60年(1985)斎藤茂吉文化賞受賞。平成24年(2012)92歳で没。



〈紅かんざし〉

山形県「漆芸の精華」

4人展

関連イベント2 ワークショップ

漆のカップに蒔絵体験

11.26 [日]
13:30~16:00

[講師] 松本 由衣氏
(東北芸術工科大学 工芸デザイン学科 講師)

[対象] 高校生以上

[お申込] 必要。あゆーむまでお申込ください。
(〆切 11月24日)

[参加料] 4,500円+送料 (完成品をあゆーむに取りに来られる場合は不要)

[定員] 12名

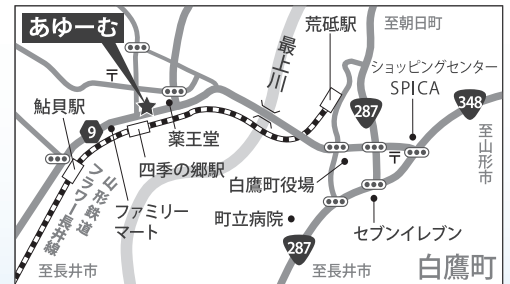
※本漆を使用します。十分注意しますが、まれにかぶれることがあります。

※汚れても良い長袖の作業服をご用意ください。

※細かい作業をします、老眼鏡や拡大鏡が必要な方はご準備ください。



▲ 制作例



白鷹町文化交流センターAYU:M

[車] 山形市より国道348号線で約35分

[電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

[お問合せ] 0238-85-9071